

豊岡の宝探し

21

な さ 奈佐 地区 (豊岡)

このコーナーでは、豊岡市内にある29地区の宝を紹介します。



ほうじょうにんじゆんきょうひ
法如上人巡教碑

西本願寺第17代法主・法如上人は、京都の六条に寺があったことから六条さんと呼ばれ、巡教の様子が歌として残っています。この歌は奈佐節として今に踊り継がれています(平成8年9月に市無形民俗文化財に指定)。また、昭和58年には福成寺地区に奈佐節の歌詞の碑が建てられました。



奈佐森林公園

大岡山のふもとと標高130~470メートルに位置する奈佐森林公園は、周囲を約86ヘクタールの森林に囲まれています。キャンプ場、多目的広場、ローラースケート場などが整備されています。



白藤神社の大モミ

白藤神社の境内には、幹周り5.24メートル、高さ36メートルの大モミの巨木があります(昭和40年3月に県重要文化財に指定)。落雷により先端を欠いていますが樹勢もよく、樹齢は約800年と推定されています。



野垣の木造十一面観音像

野垣の観音堂には、高さ1.72メートルで檜の一本作りの十一面観音像がまつられています(昭和40年3月に県重要文化財に指定)。頭上十一面も一木から彫り出されており、このような作りは珍しいとされています。

コウノトリ但馬空港

コウノトリ但馬空港は、平成6年5月に開港し、但馬地域の空の玄関口となっています。滑走路の長さは、1,200メートルで36人乗りのサブ機が但馬と大阪空港を約35分で結んでいます。



地区のいわれ

奈佐地区は、旧郷名である「奈佐郷」の名を今に引き継いでいますが、古来、船で行き来していたことなどから「なぎさ」に由来しているともいわれています。同地区は、米作りをはじめ農業が盛んで、地区では伝統行事である恒例の三世交代交流そば打ち大会などが行われ、そば打ちや奈佐節などの伝統を地域ぐるみで引き継いでいます。

主な公共施設

- ・奈佐小学校・奈佐地区公民館
- ・豊岡清掃センター・奈佐森林公園
- ・コウノトリ但馬空港

行政区

- ・奥岩井・口岩井
- ・宮井・庄・吉井
- ・野垣・福成寺
- ・大谷・内町・辻
- ・船谷・目坂

奈佐地区

行政区数

12区

人口 1,358人

男性 670人

女性 688人

世帯数 377世帯

(平成19年4月1日現在)